

環境衛生課からの お知らせ

令和2年度（2020年度） 町営二川小水力発電所発電実績

令和2年度（2020年度）の有田川町営二川小水力発電所の発電実績を報告します。

- 年間発電電量／約130万キロワット時
- 二酸化炭素削減量／約459トン（原油換算で約336キロリットル）
- 売電額／約4883万円

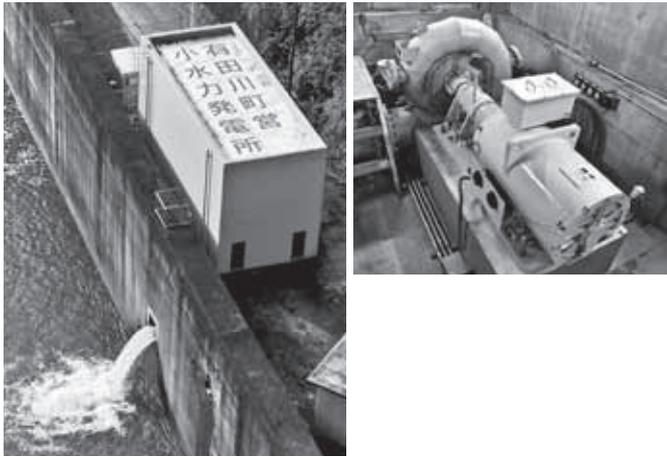
二川ダムでは、下流域の環境維持のため毎秒約700リットルの放

町営二川小水力発電所の概要

- 水車の形式 横軸フランシス水車
- 使用水量 0.70m³/s
- 有効落差 約35m
- 発電所出力 最大200kW
- 総事業費 2億8,623万1,000円
- 完成 平成28年（2016年）2月

環境衛生課（吉備庁舎）
清水行政局 建設環境室
〜ごみ分別すれば資源〜

流が常に行われています。有田川町営二川小水力発電所は、この環境維持放流水の水流エネルギーを利用し発電しています。開所からの総売電額は約2億3788万円です。この発電所の収益は、循環型社会の構築と自然エネルギーの利用促進のために役立てられています。環境にも町財政にもエコな発電所です。



川を大切に

毎年、夏前になると「魚が死んで浮いている」などの通報を受けます。夏場の猛暑で水温が高くなり、酸欠が原因になることもあります。しかし、多くは農薬散布の方法や残農薬をそのまま川に流してしまうなどの不適切な廃棄処分によるものと推測されます。また、農薬以外にも、事業所（工場や飲食店）からの廃油などが流出する事故も数件あります。魚が死ぬと付近一帯に異臭を放ち大変迷惑であり、それ以上に生態系を崩す大きな問題になります。川への残農薬などの放流は絶対にしないでください。

犬猫去勢等補助制度

犬や猫の無秩序な繁殖を抑制し、適正な飼育管理を目的として、飼い犬または飼い猫の去勢・避妊手術に要する費用について、補助金を交付します。

補助制度を利用する場合は、事前に申請が必要です。補助金交付申請書を環境衛生課（吉備庁舎）または清水行政局建設環境室へ提出してください。申請の受け付けは予算額に

達し次第終了します。

●対象者／町内に住民登録されており、町内で犬または猫を飼う者

●補助金

- ・犬の去勢／60000円
- ・犬の避妊／80000円
- ・猫の去勢／40000円
- ・猫の避妊／60000円

※1年度につき1世帯当たり2匹までです。



家庭から出る 燃えるごみの収集量

令和3年（2021年）3月／約317トン
前月から約54トンの増加

有田川町の家庭から出る燃えるごみや燃えないごみは環境センターで処理されており、その運営費の一部を分担金として支払っています。分担金はごみ搬入量と人口に基づいて計算されます。

生ごみの水切りやコンポスト容器の利用など、ごみ減量によって環境にも町財政にもエコな暮らしを目指しましょう。